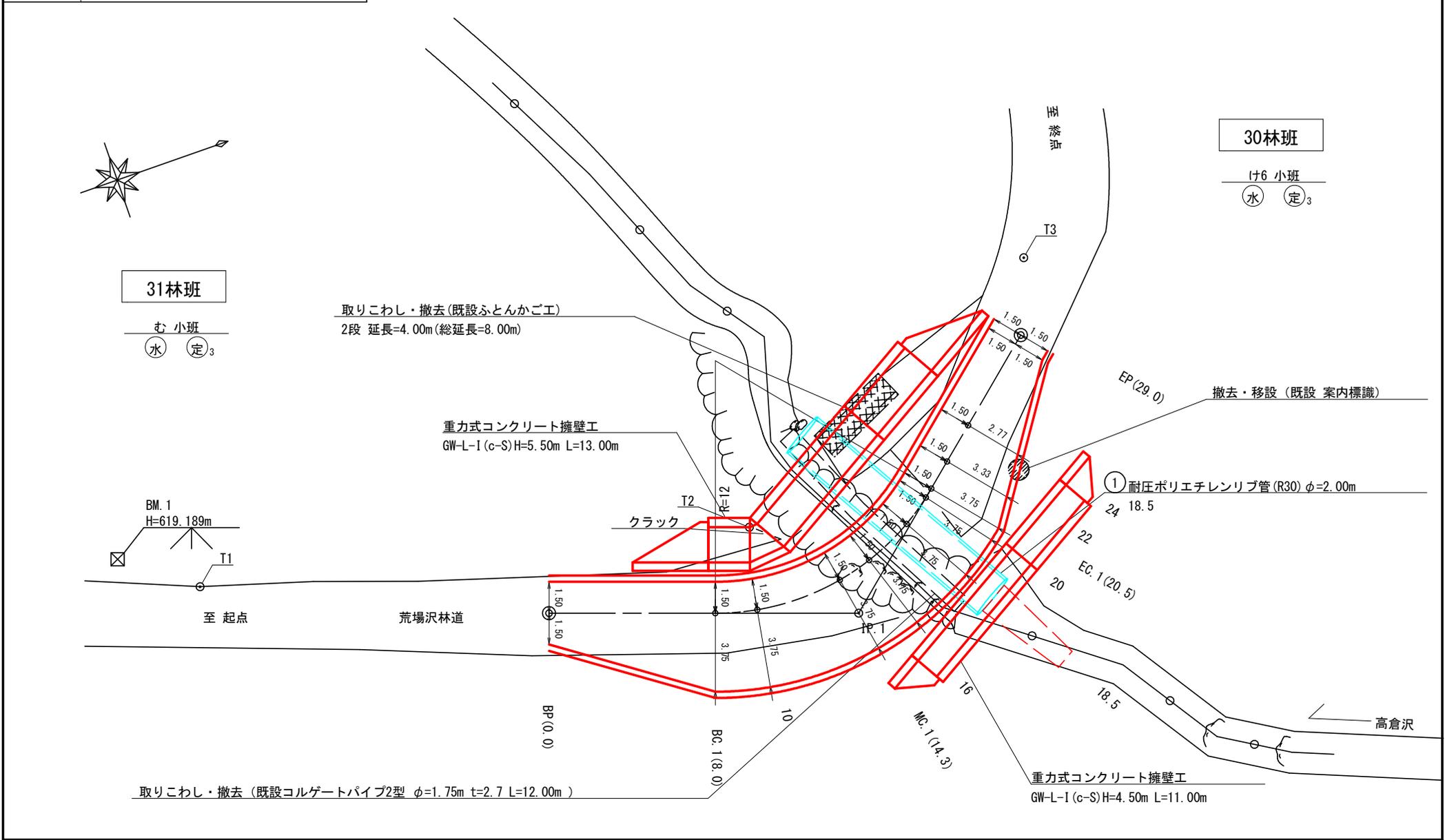


図名	平面図	1/1
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:250	

IPNO	D	LR	A	IA	R	T.L	S.L	C.L	B.C	M.C	E.C	IP.D
BP												0.0
1	14.9	L	120-25	59-35	12	6.9	1.8	12.5	8.0	14.3	20.5	14.9
EP	15.4									EP (29.0)		29.0

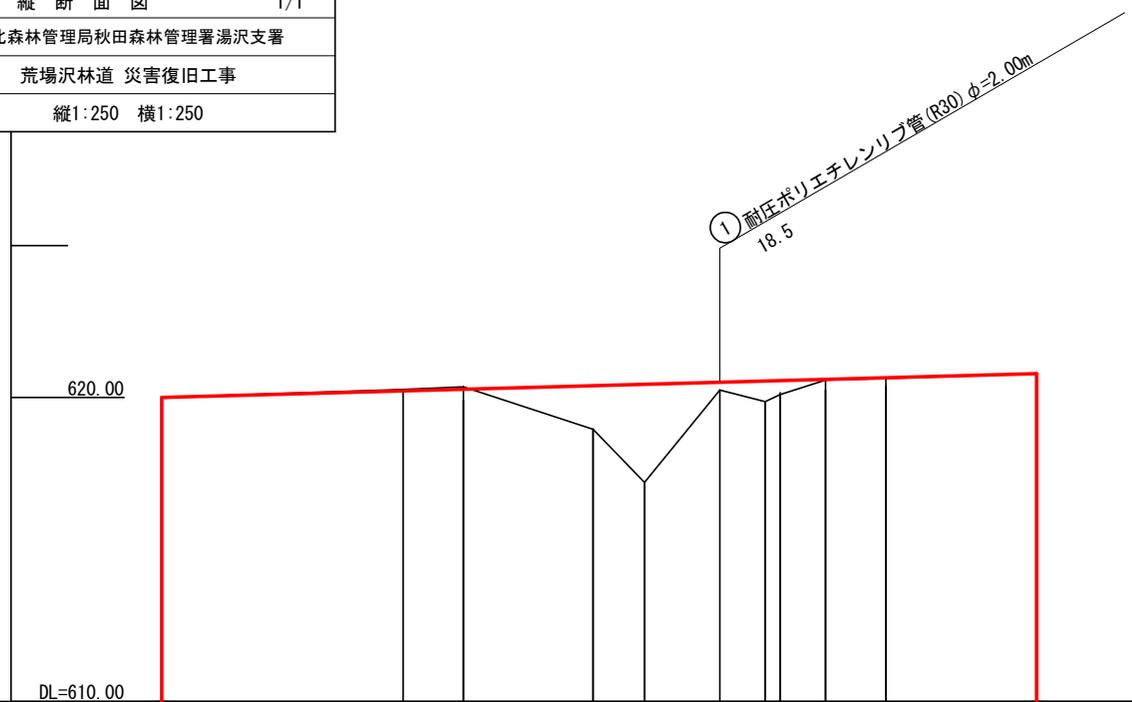


図名	縦断面図	1/1
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	縦1:250 横1:250	

被災番号 1号 - 1.0km地点

① 耐圧ポリエチレンリブ管 (R30) φ=2.00m  
18.5

BM. 1  
H=619.189m

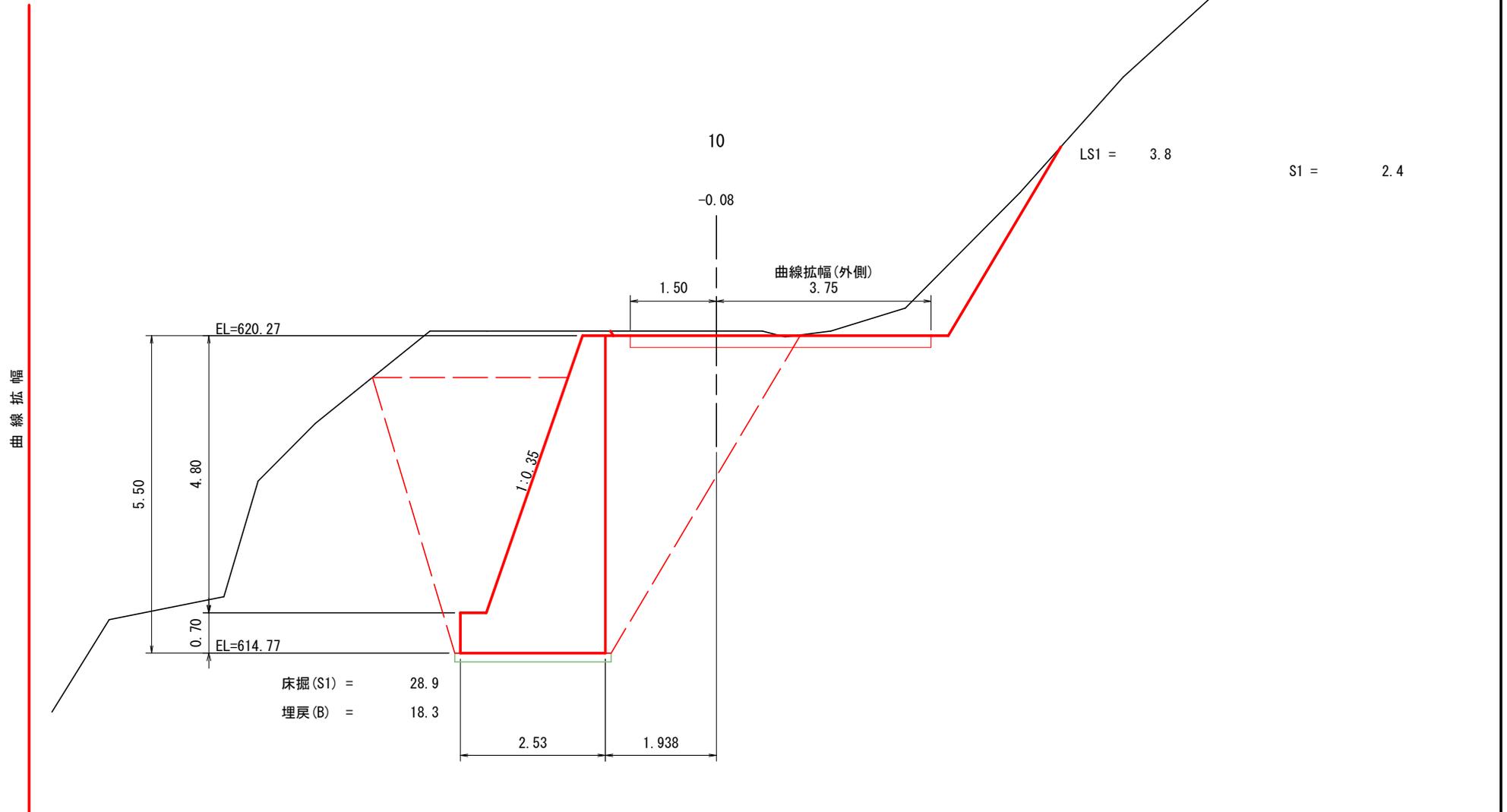


勾配	620.00										620.79									
盛土高	0.00										0.00									
切土高	0.00										0.00									
計画高	620.00										620.79									
地盤高	620.00										620.79									
測点	BF (0.0)										EP (29.0)									
曲線	BC.1 (8.0)										MC.1 (14.3)									
	10										16									
	18.5										20									
	22										24									
	IP.1										R=12									



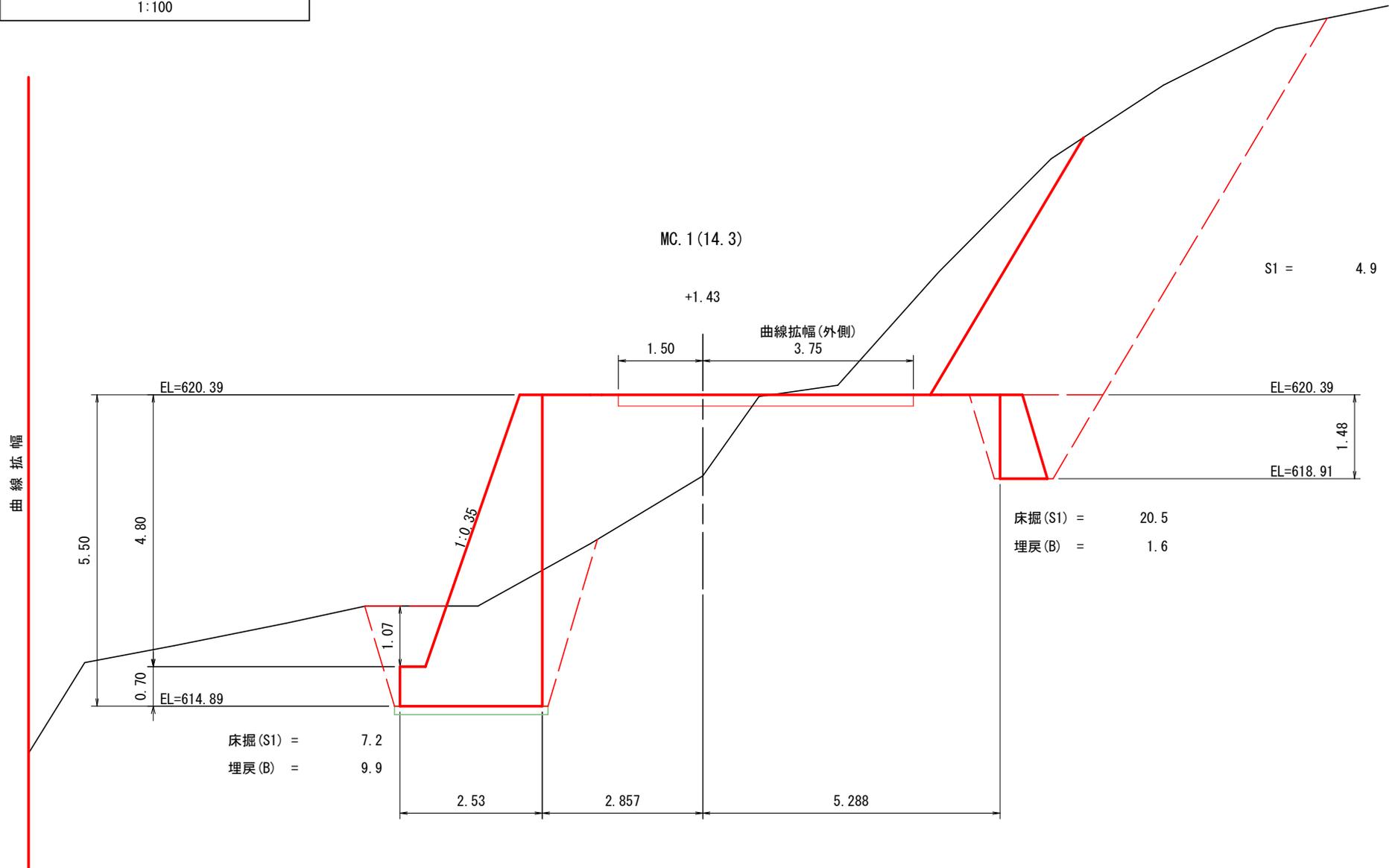
図名	横断面図	2/8
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

被災番号 1号 - 1.0km地点



図名	横断面図	3/8
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

被災番号 1号 - 1.0km地点



床掘 (S1) = 7.2  
埋戻 (B) = 9.9

床掘 (S1) = 20.5  
埋戻 (B) = 1.6

S1 = 4.9

MC. 1 (14.3)

+1.43

曲線拡幅(外側)

1.50

3.75

EL=620.39

EL=620.39

EL=618.91

5.50

4.80

0.70

EL=614.89

1:0.35

1:0.70

2.53

2.857

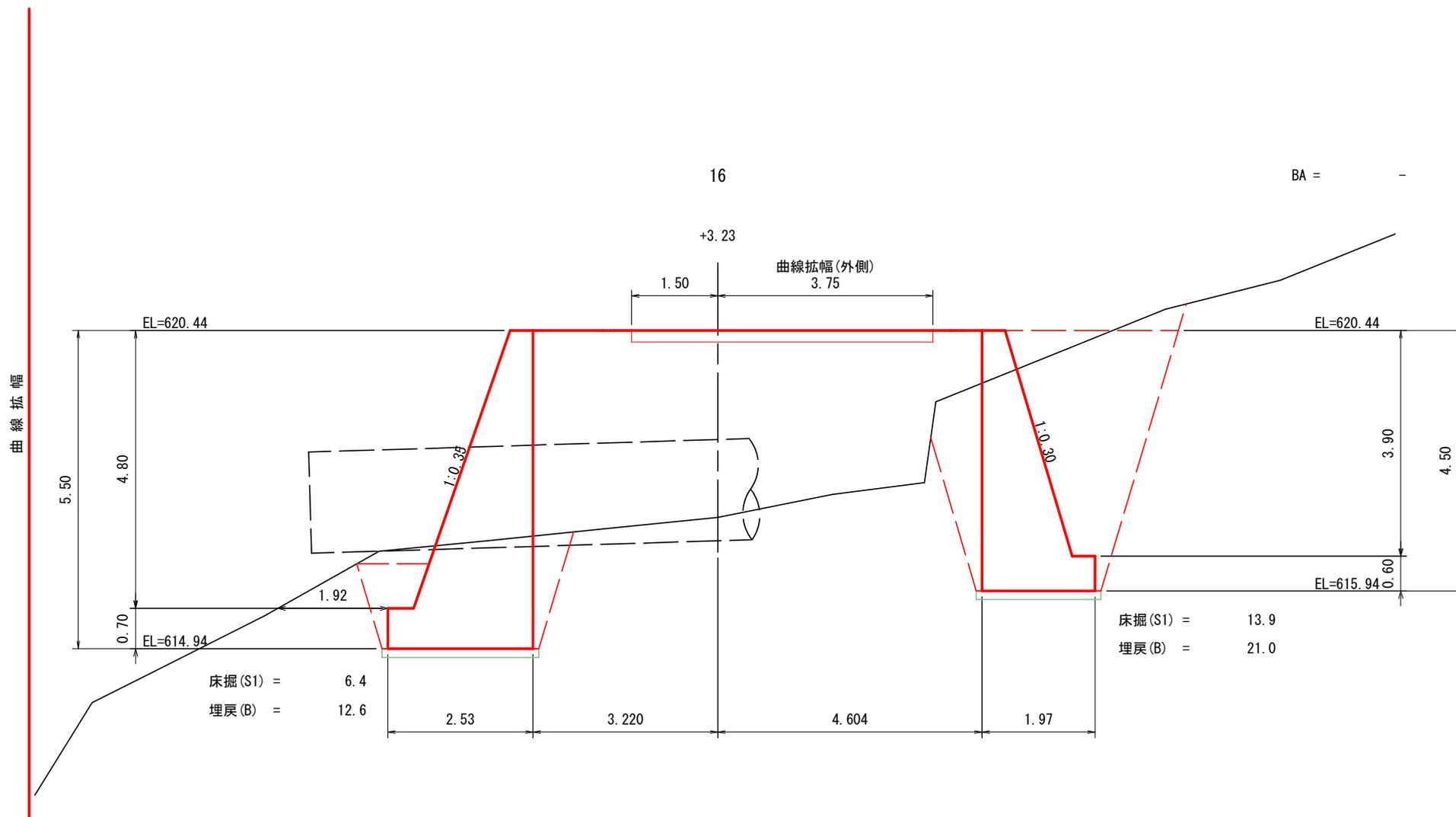
5.288

1.48

曲線拡幅

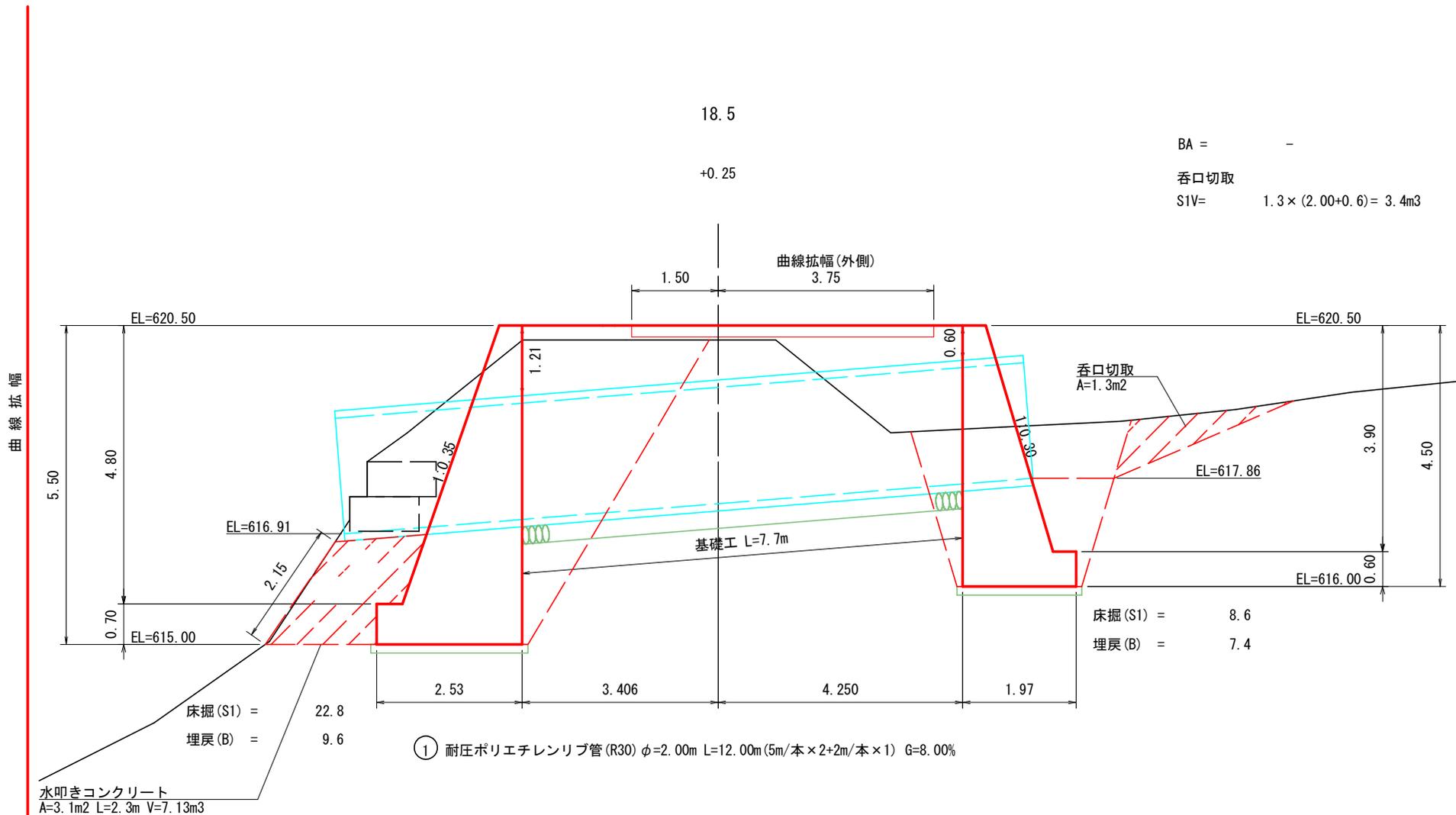
図名	横断面図	4/8
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

被災番号 1号 - 1.0km地点



図名	横断面図	5/8
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

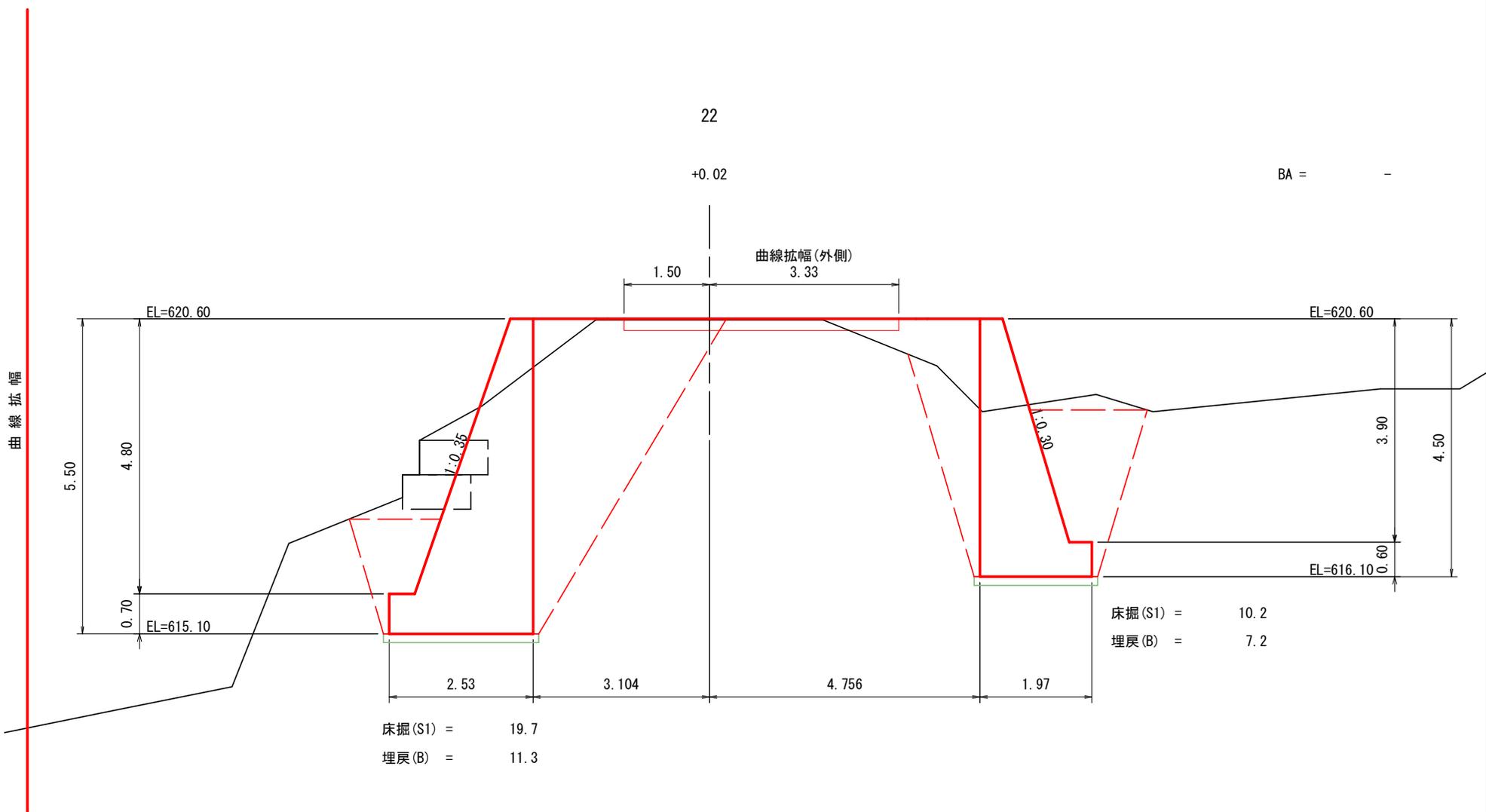
被災番号 1号 - 1.0km地点





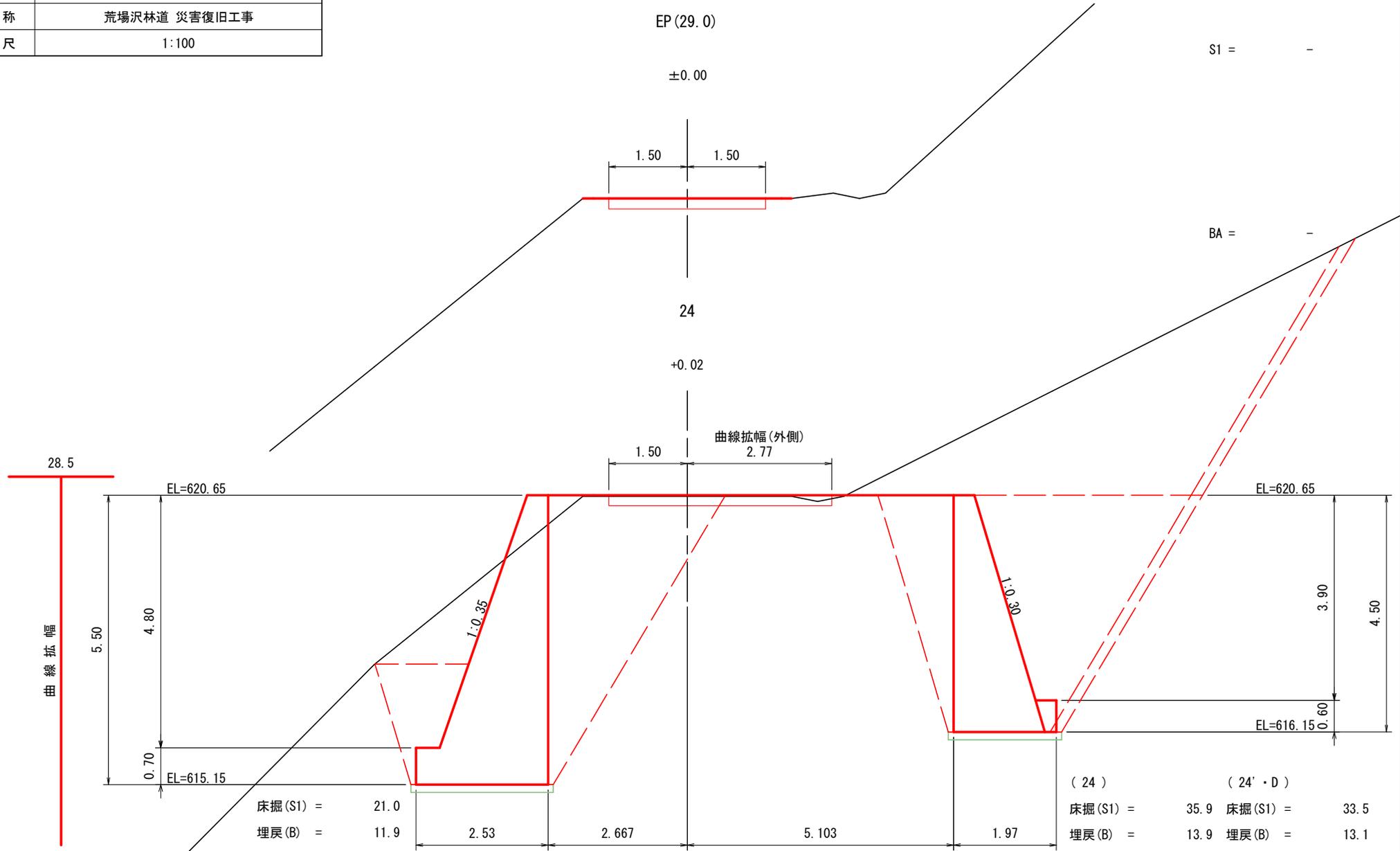
図名	横断面図	7/8
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

被災番号 1号 - 1.0km地点



図名	横断面図	8/8
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

被災番号 1号 - 1.0km地点



S1 = -

BA = -

EP (29.0)

±0.00

24

+0.02

曲線拡幅(外側)  
2.77

28.5

EL=620.65

EL=620.65

5.50

4.80

1:0.35

1:0.30

3.90

4.50

曲線拡幅

0.70

EL=615.15

EL=616.15

床掘(S1) = 21.0

埋戻(B) = 11.9

2.53

2.667

5.103

1.97

( 24 )

( 24' · D )

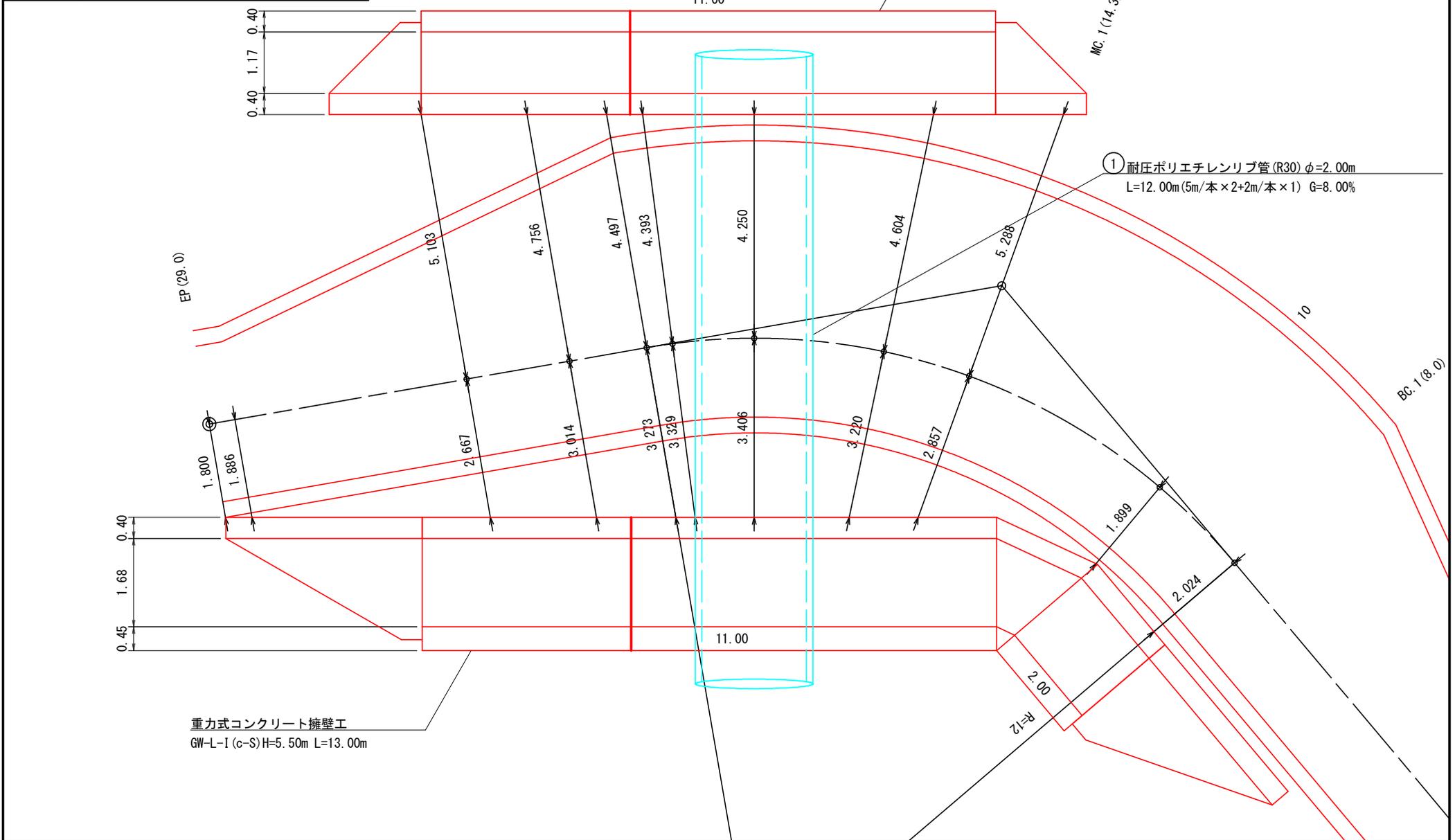
床掘(S1) = 35.9 床掘(S1) = 33.5

埋戻(B) = 13.9 埋戻(B) = 13.1

図名	構造図	1/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

平面図

被災番号 1号 - 1.0km地点



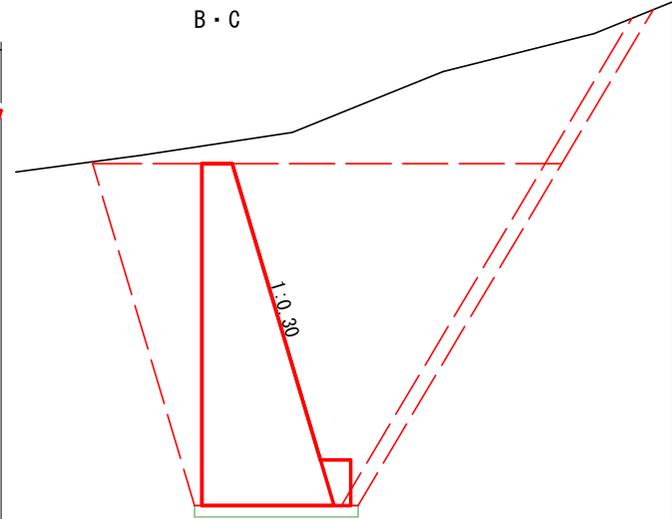
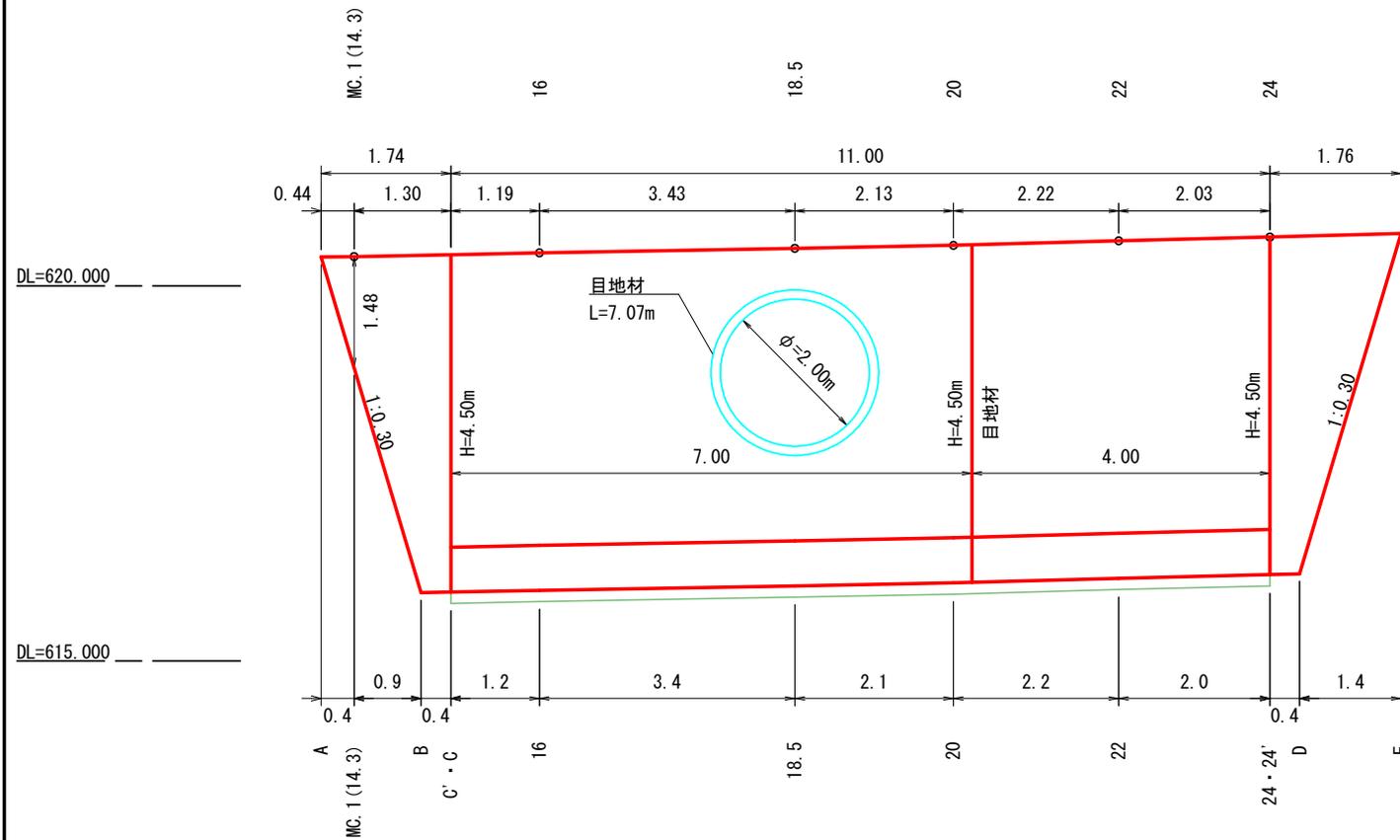
図名	構造図	2/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

上流側重力式コンクリート擁壁工

被災番号 1号 - 1.0km地点

正面図

床掘断面図



( B · C )	
床掘 (S1) =	22.8
埋戻 (B) =	13.1
( C )	
床掘 (S1) =	24.6
埋戻 (B) =	13.9

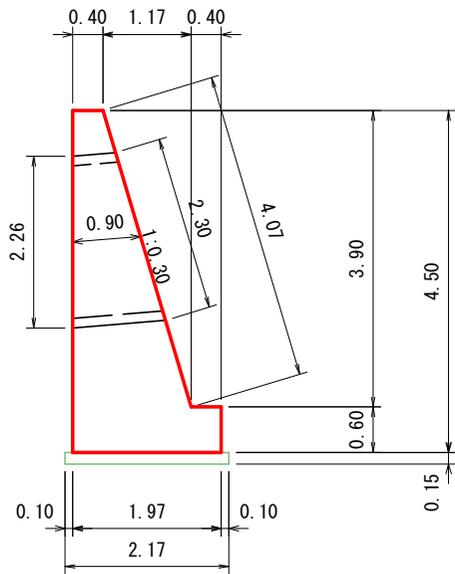
図名	構造図	3/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

上流側重力式コンクリート擁壁工

被災番号 1号 - 1.0km地点

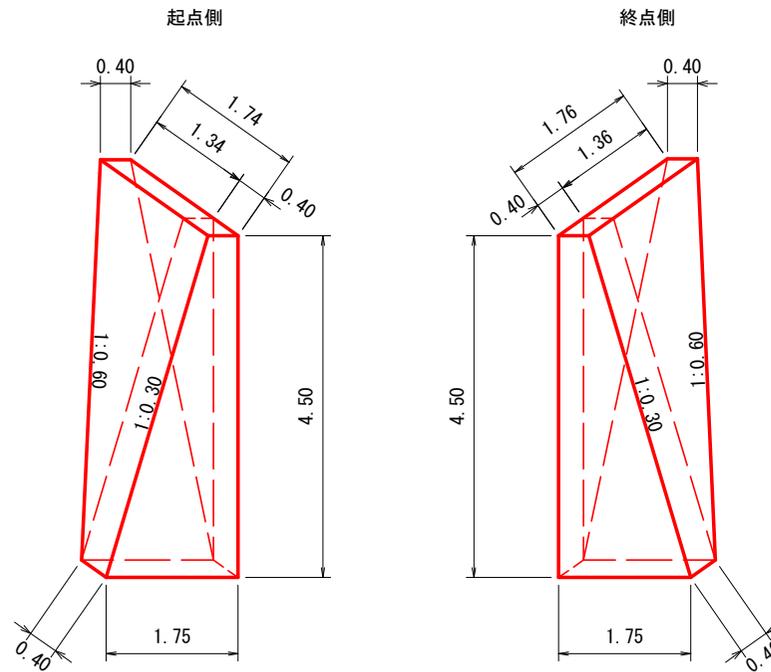
正面図

側面図



端部止および屈曲部コンクリート 詳細図

※数量は計算書参照



(上流側)

重力式コンクリート擁壁工 GW-L-I (c-S) 数量表 m当たり

名称	単位	数量	備考
コンクリート	m <sup>3</sup>	5.024	
型枠(前面)	m <sup>2</sup>	4.67	
型枠(背面)	m <sup>2</sup>	4.50	
型枠(端部)	m <sup>2</sup>	5.02	1箇所当たり
目地材	m <sup>2</sup>	5.02	測点20付近
目地材	m <sup>2</sup>	6.36	管周り
基礎栗石	m <sup>3</sup>	0.33	2.17m <sup>2</sup>

コンクリート控除(排水管分)

$$V = 2.252^2 \times \pi / 4 \times 0.90 = -3.58\text{m}^3$$

型枠(前面)控除(排水管分)

$$A = 2.30^2 \times \pi / 4 = -4.15\text{m}^2$$

型枠(背面)控除(排水管分)

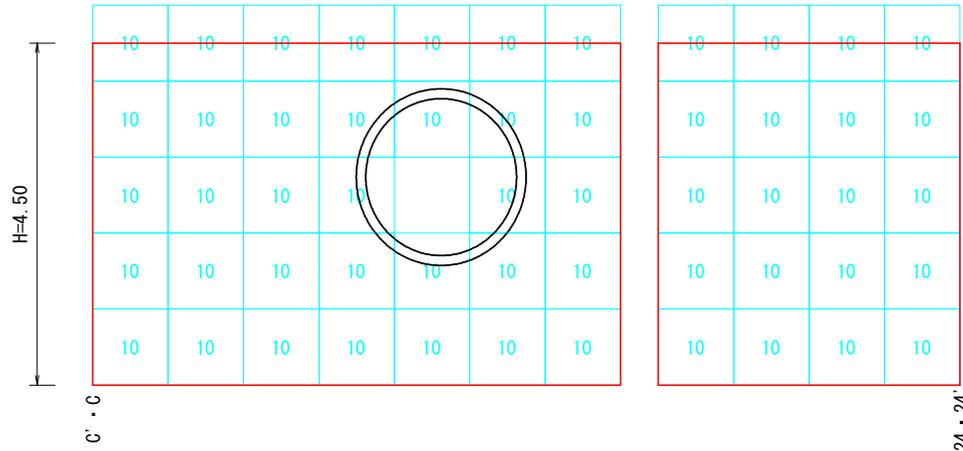
$$A = 2.26^2 \times \pi / 4 = -4.01\text{m}^2$$

図名	構造図	4/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

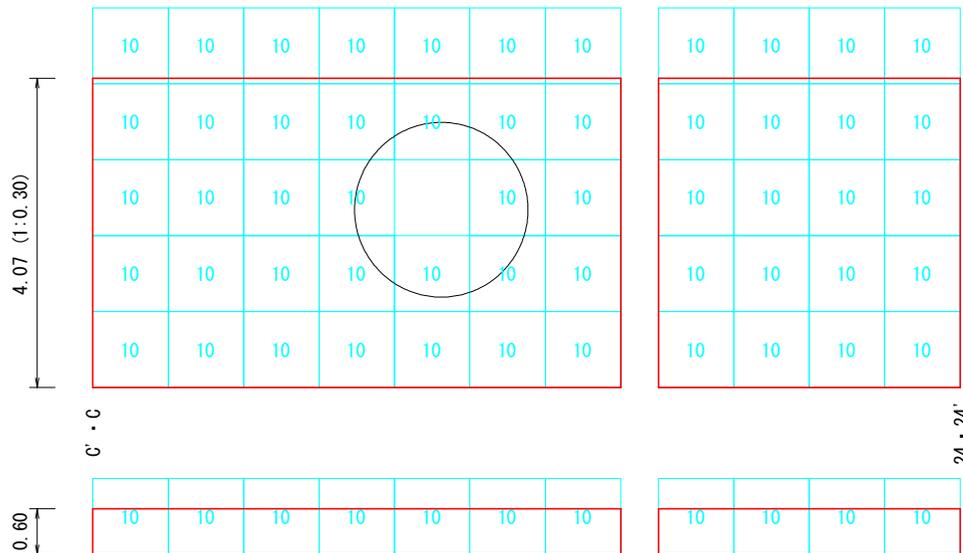
## (参考) 型枠工数量算定図

上流側重力式コンクリート擁壁工

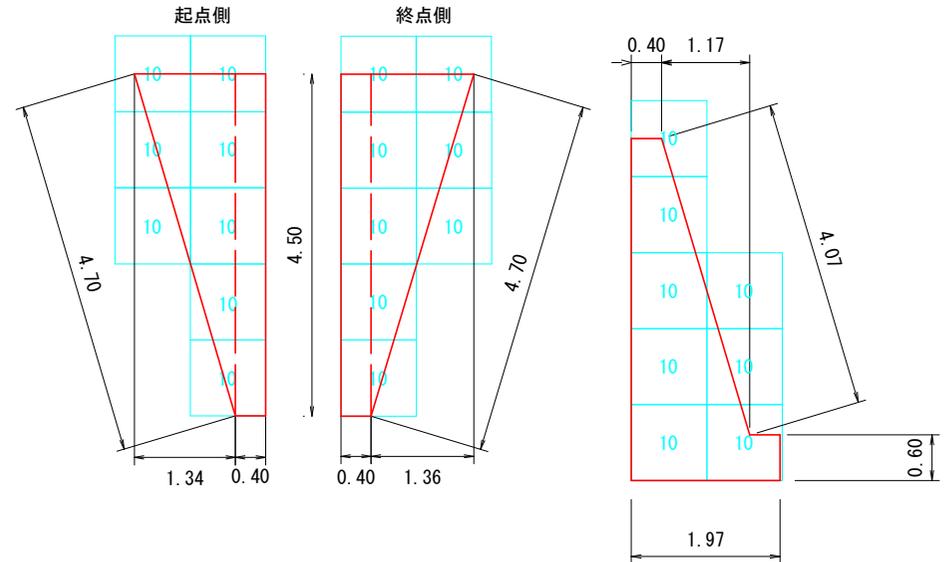
背面側型枠



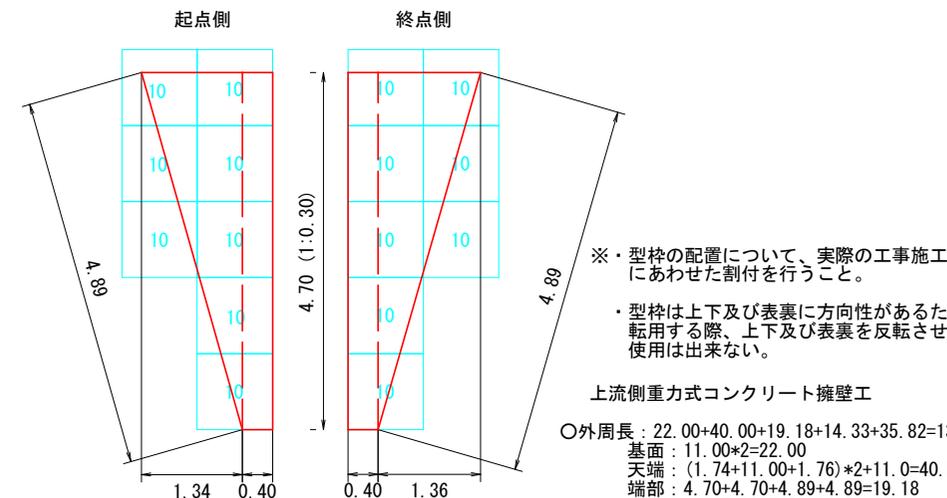
前面側型枠



背面側型枠 (端部止)



前面側型枠 (端部止)



※ 型枠の配置について、実際の工事施工にあわせた割付を行うこと。  
 ・ 型枠は上下及び表裏に方向性があるため、転用する際、上下及び表裏を反転させての使用は出来ない。

上流側重力式コンクリート擁壁工

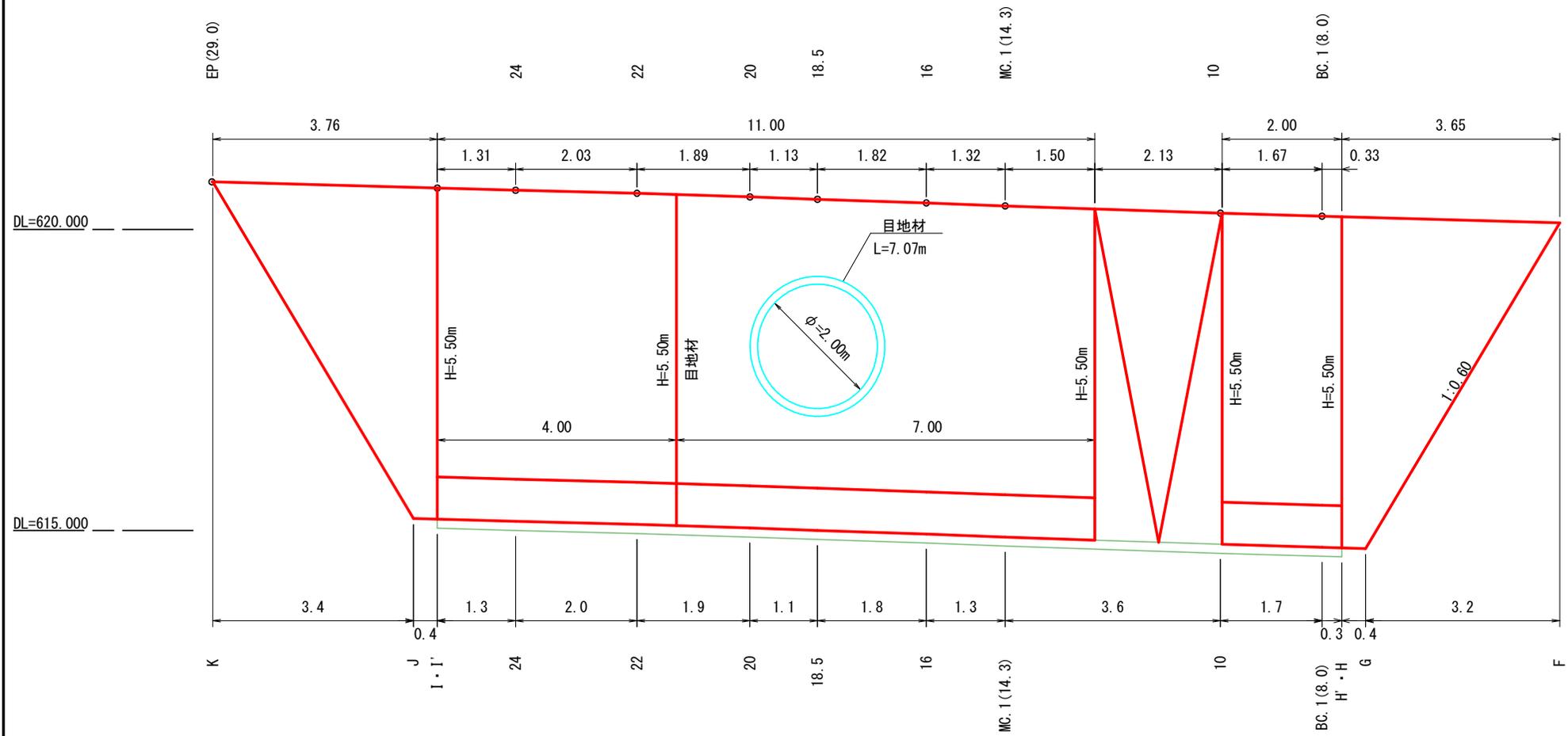
○外周長：22.00+40.00+19.18+14.33+35.82=131.33  
 基礎：11.00\*2=22.00  
 天端：(1.74+11.00+1.76)\*2+11.0=40.00  
 端部：4.70+4.70+4.89+4.89=19.18  
 排水管部：7.10+7.23=14.33  
 目地部・端部：(4.50+0.40+4.07+0.40+0.60+1.97)\*3=35.82

図名	構造図	5/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

下流側重力式コンクリート擁壁工

被災番号 1号 - 1.0km地点

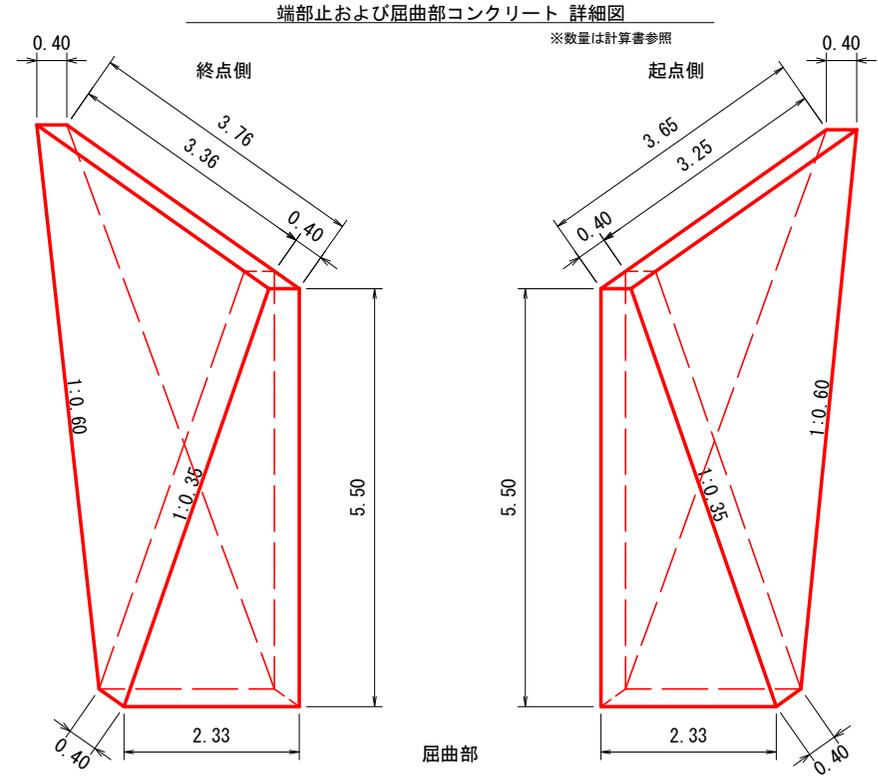
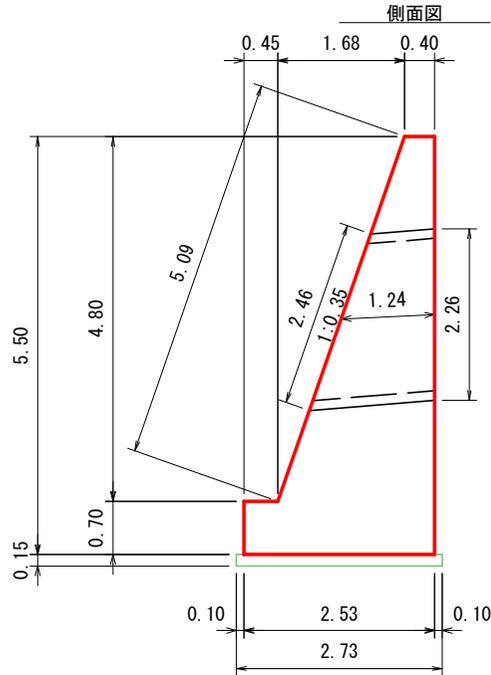
正面図



図名	構造図	6/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

下流側重力式コンクリート擁壁工

被災番号 1号 - 1.0km地点

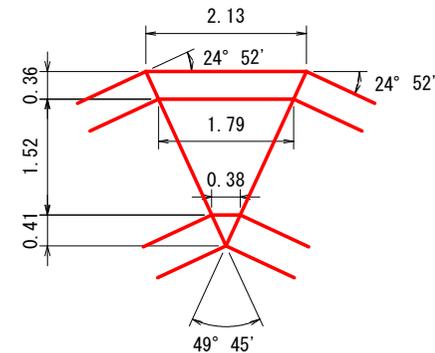


(下流側)

重力式コンクリート擁壁工 GW-L-I (c-S) 数量表 m当たり

名称	単位	数量	備考
コンクリート	m <sup>3</sup>	7.723	
型枠(前面)	m <sup>2</sup>	5.79	
型枠(背面)	m <sup>2</sup>	5.50	
型枠(端部)	m <sup>2</sup>	7.72	1箇所当たり
目地材	m <sup>2</sup>	7.72	測点22付近
目地材	m <sup>2</sup>	8.77	管周り
基礎栗石	m <sup>3</sup>	0.41	2.73m <sup>2</sup>

コンクリート控除(排水管分)  
 $V = 2.252^2 \times \pi / 4 \times 1.24 = -4.94m^3$   
 型枠(前面)控除(排水管分)  
 $A = 2.46^2 \times \pi / 4 = -4.75m^2$   
 型枠(背面)控除(排水管分)  
 $A = 2.26^2 \times \pi / 4 = -4.01m^2$



図名	構造図	7/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

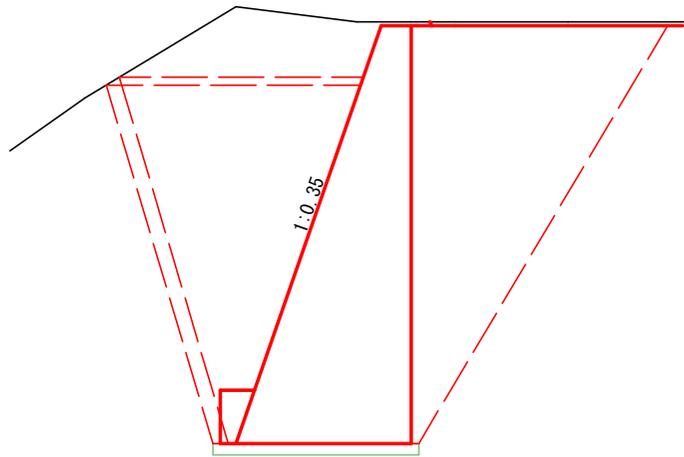
下流側重力式コンクリート擁壁工

被災番号 1号 - 1.0km地点

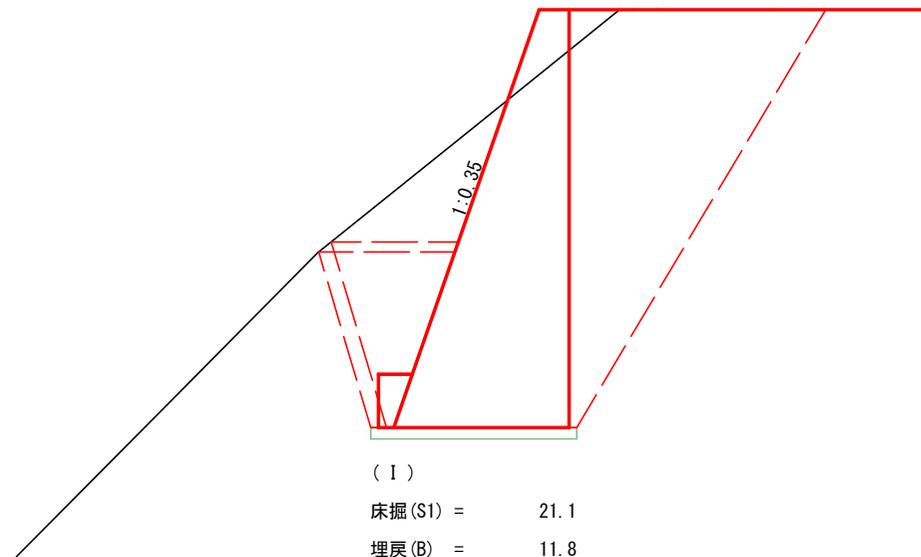
床掘断面図

G・H

I・J



( G・H' )  
 床掘(S1) = 27.4  
 埋戻(B) = 17.7  
  
 ( H )  
 床掘(S1) = 28.8  
 埋戻(B) = 18.1



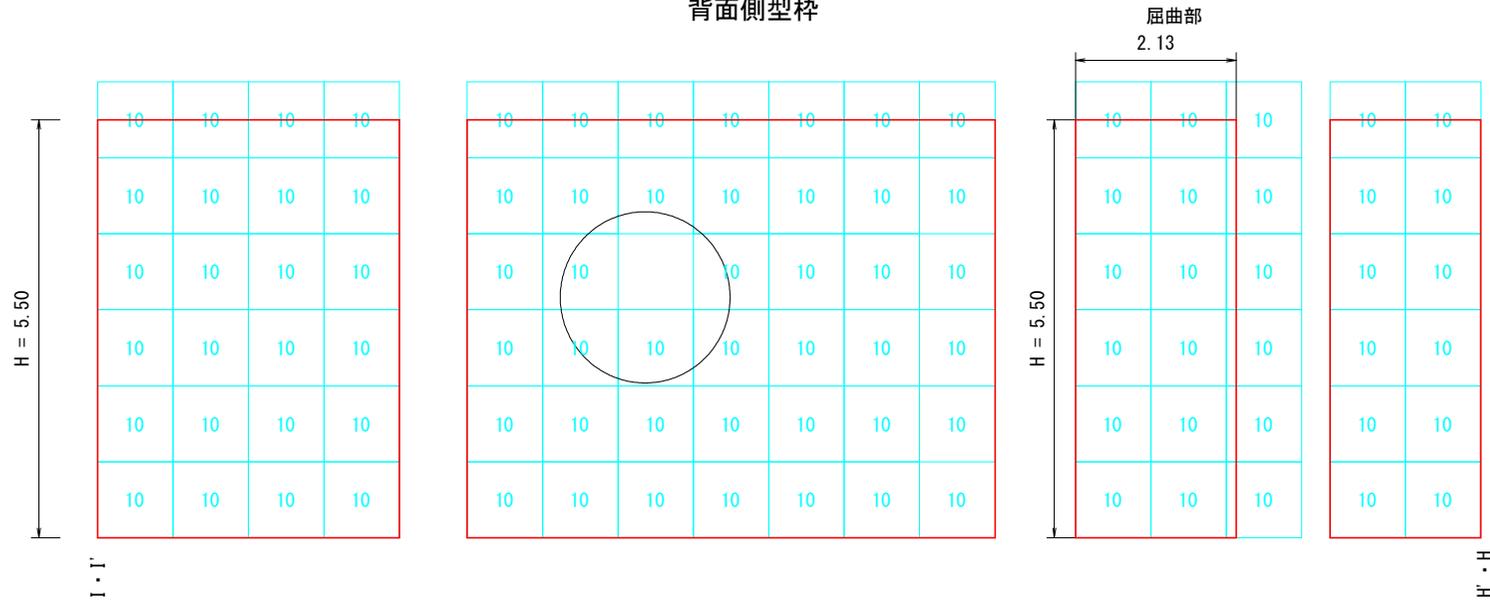
( I )  
 床掘(S1) = 21.1  
 埋戻(B) = 11.8  
  
 ( I'・J )  
 床掘(S1) = 20.2  
 埋戻(B) = 11.8

図名	構造図	8/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

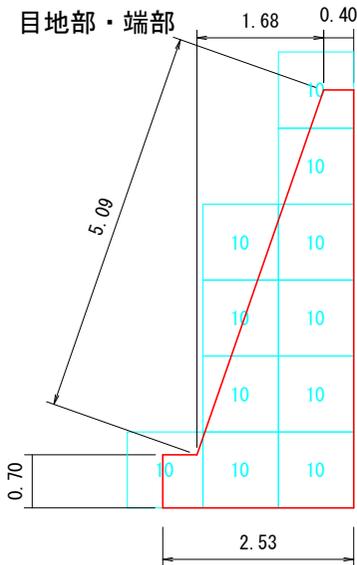
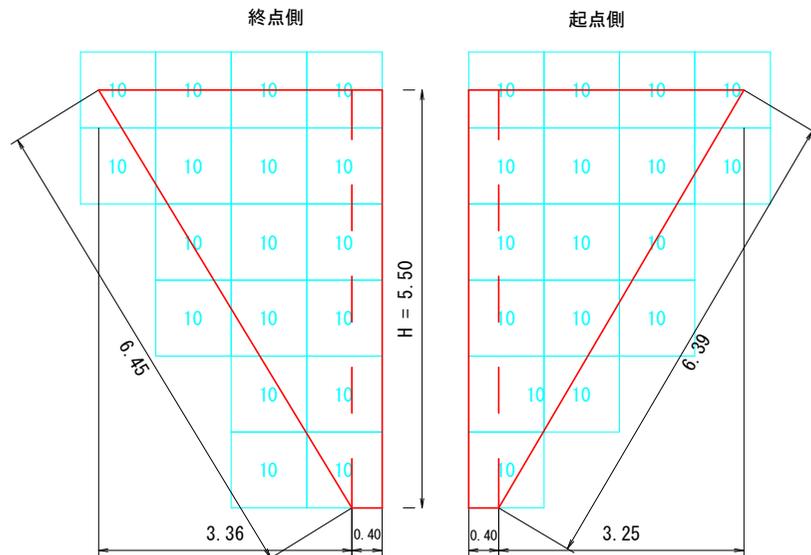
## (参考) 型枠工数量算定図

### 下流側重力式コンクリート擁壁工

#### 背面側型枠



#### 背面側型枠 (端部止)



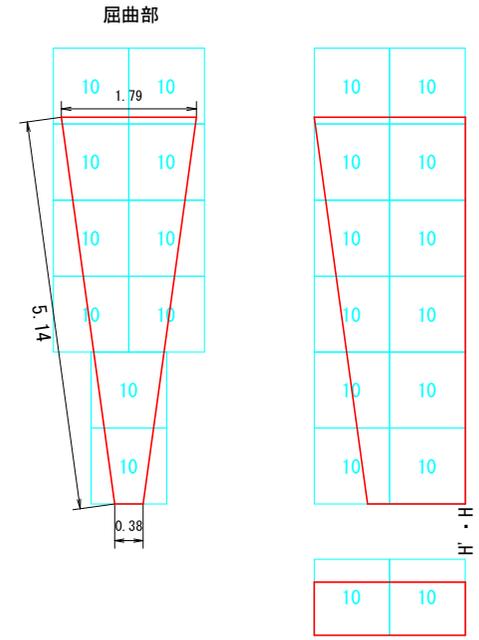
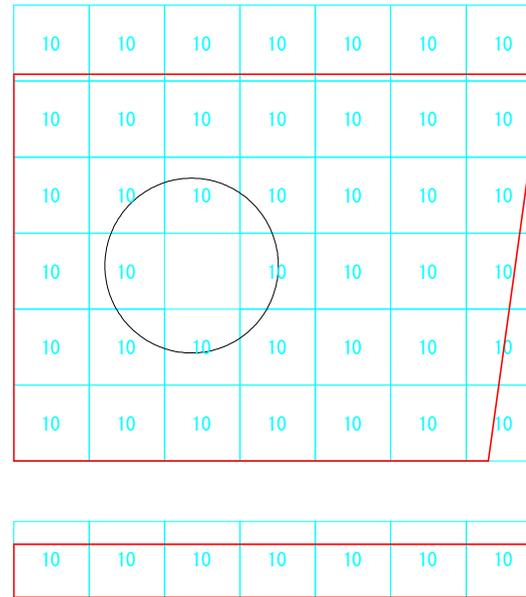
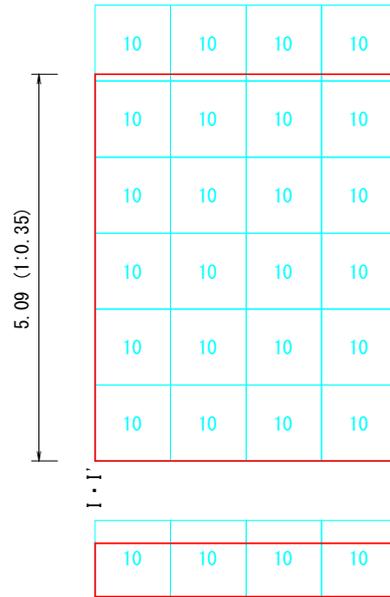
- ※ 型枠の配置について、実際の工事施工にあわせた割付を行うこと。
- ※ 型枠枚数は目安である。
- ※ 型枠は上下及び表裏に方向性があるため、転用する際、上下及び表裏を反転させての使用は出来ない。

図名	構造図	9/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:100	

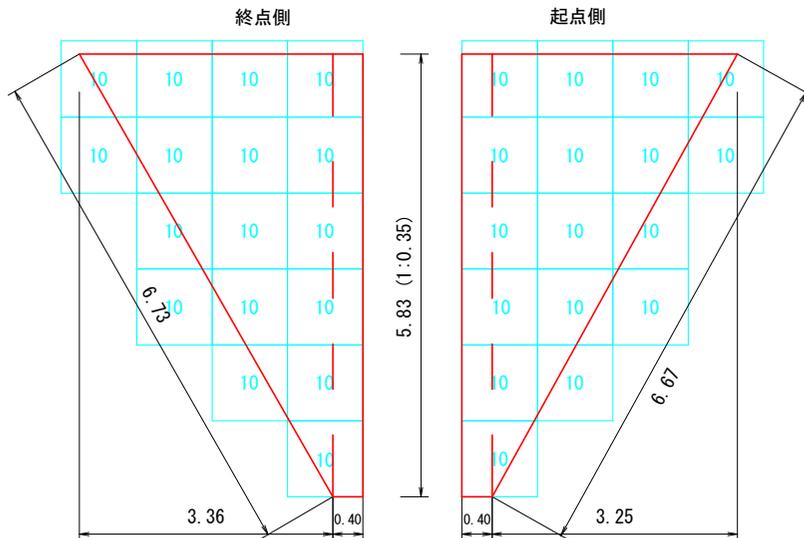
## (参考) 型枠工数量算定図

### 下流側重力式コンクリート擁壁工

#### 前面側型枠



#### 前面側型枠 (端部止)



#### 下流側重力式コンクリート擁壁工

○外周長 :  $28.13+57.54+26.24+14.83+44.01=170.75$   
 基面 :  $(11.00+2.00)*2+2.13=28.13$   
 天端 :  $\{(3.76+11.00+2.00+3.65)*2+2.13+1.79\}+13.00=57.54$   
 端部 :  $6.45+6.39+6.73+6.67=26.24$   
 排水管部 :  $7.10+7.73=14.83$   
 目地部・端部 :  $(5.50+0.40+5.09+0.45+0.70+2.53)*3=44.01$

○折れ点 :  $(5.14+5.50)*2=21.28$

○補正係数  
 K2 :  $(131.33+170.75)*0.1=30.21$   
 K3 :  $21.28*0.2=4.26$

※・型枠の配置について、実際の工事施工にあわせた割付を行うこと。

・型枠は上下及び表裏に方向性があるため、転用する際、上下及び表裏を反転させての使用は出来ない。

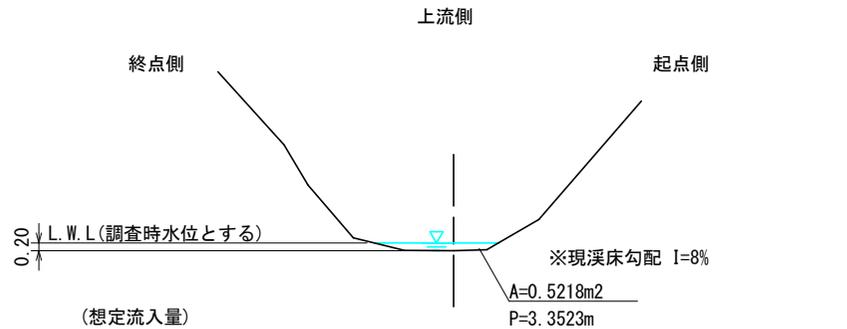


図名	構造図	11/11
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:200	

(参考) 水替工および仮締切工

被災番号 1号 - 1.0km地点

想定流入量算定図



(想定流入量)

$$Q_{in} = V \times A = 2.0465 \times 0.5218 = 1.0679 \text{ m}^3/\text{sec}$$

$$V = 1/n \times R^{(2/3)} \times I^{(1/2)} = 1/0.040 \times 0.1557^{(2/3)} \times 0.080^{(1/2)} = 2.0465 \text{ m/sec}$$

$$R = A/P = 0.5218/3.3523 = 0.1557 \text{ m}$$

(水替工) 仮設配管条件: 管内径φ600mm, 粗度係数0.016の場合

$$Q_{out} = V \times A = 4.9906 \times 0.2827 = 1.4108 \text{ m}^3/\text{sec}$$

$$V = 1/n \times R^{(2/3)} \times I^{(1/2)} = 1/0.016 \times 0.1500^{(2/3)} \times 0.080^{(1/2)} = 4.9906 \text{ m/sec}$$

$$R = 0.25 \times d = 0.2500 \times 0.600 = 0.1500 \text{ m}$$

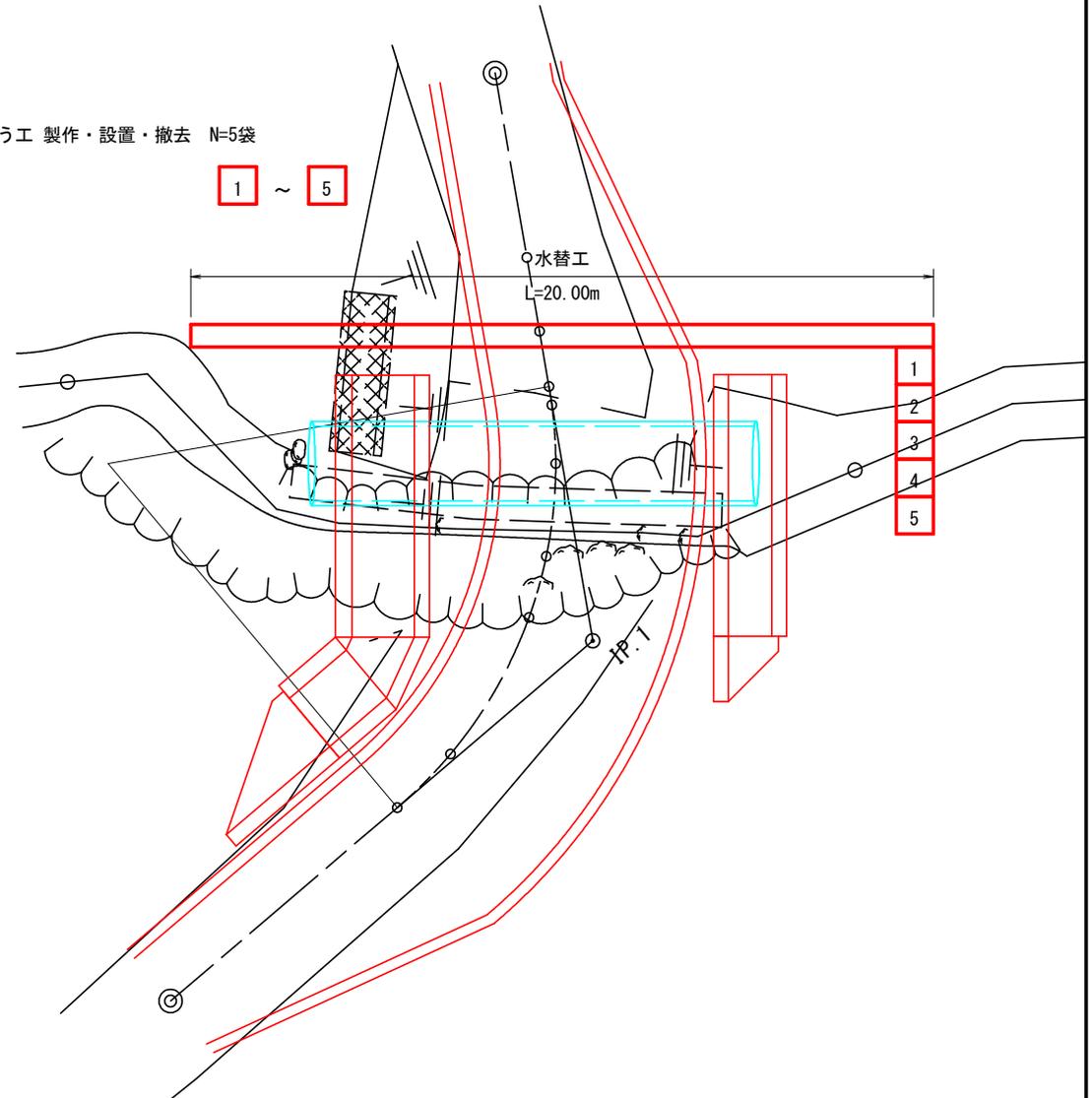
$$Q_{out} \geq Q_{in} = 1.4108 \geq 1.0679 \dots OK$$

※当箇所の水替工について、調査時水位をもとに算出した想定流入量:  $Q=1.0679\text{m}^3/\text{sec}$ 以上を排水するものとする。

ただし、仮設工法の指定をするものではない。

仮設平面図

大型土のう工 製作・設置・撤去 N=5袋

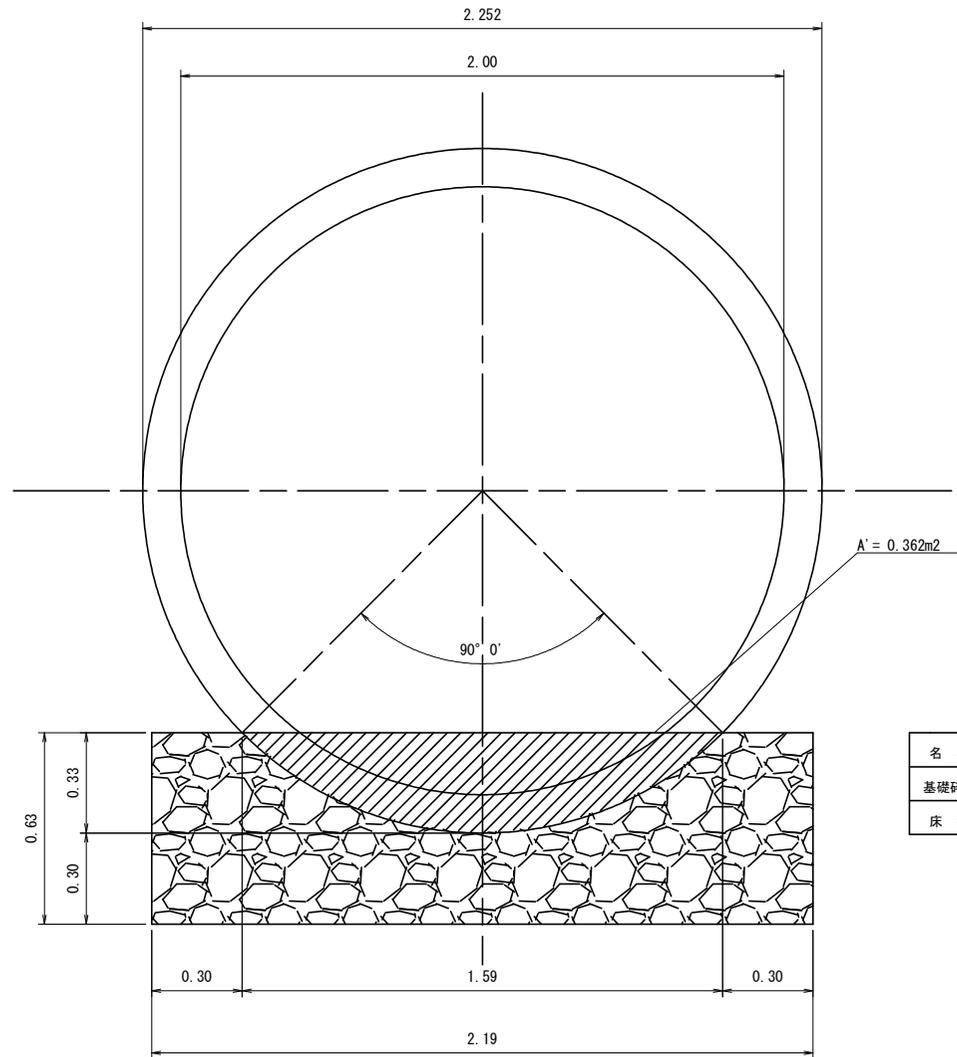


図名	標準図	1/2
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:25	

排水工

被災番号 1号 - 1.0km地点

耐圧ポリエチレンリブ管 (R30)  $\phi=2.00\text{m}$



基礎工 m当たり

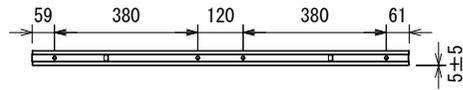
名称	単位	数量
基礎砕石	m <sup>3</sup>	1.02
床掘	m <sup>3</sup>	0.66

図名	標準図	2/2
署名	東北森林管理局秋田森林管理署湯沢支署	
名称	荒場沢林道 災害復旧工事	
縮尺	1:20	

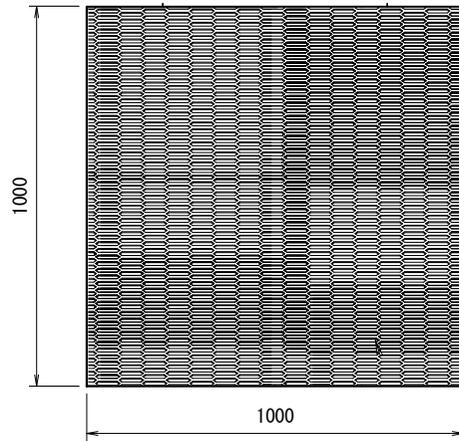
鋼製埋設型柵

被災番号 1号 - 1.0km地点

上面図



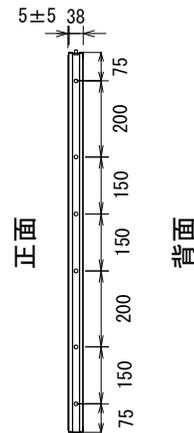
正面図



底面図



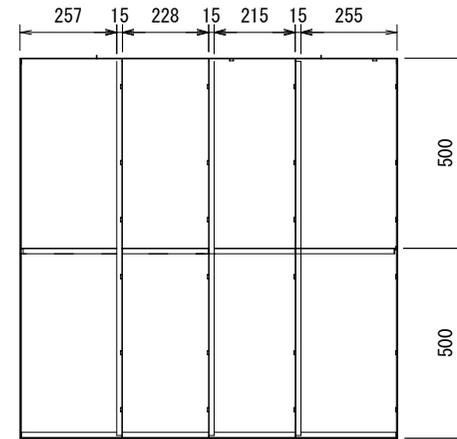
側面図



正面

背面

背面図



詳細図

